

科目区分	専門教育科目	科目名	社会福祉		科目コード	50308	担当者	長尾久美子	
対象学生	幼児教育学科2年生		学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修	
							免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
福祉の専門職として、社会福祉の理念や法制度、社会福祉援助技術等を学び、福祉の基本的な知識・姿勢を理解する。							定期試験（80%） 受講態度（20%）		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）
1.	現代社会の現状と社会福祉の役割、歴史を理解する。						○		
2.	社会保障・社会福祉の法制度体系を理解する。						○		
3.	福祉サービスと権利擁護のしくみ、専門職の倫理を理解する。					○	○	○	
4.	相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法を理解する。					○	○	○	
5.									
授業方法									
講義を基本とするが、社会福祉等の状況や施策の動向などをDVD等を使用したり、グループ討議をしながら、自分の問題として具体的に考えられるようにする。									
準備学修（予習、復習等に必要時間または具体的な学修内容）									
社会状況について新聞等の情報に関心を持ち、事前に教科書を読んでおく。									
授業計画									
第1回	社会福祉を学ぶ意味								
第2回	現代社会と生活課題								
第3回	社会福祉の考え方と役割								
第4回	社会福祉のあゆみ								
第5回	生活を守る社会保障制度（社会保障の体系・社会保険・公的扶助）								
第6回	社会福祉の制度・法体系（社会福祉法・福祉サービスの利用方法）								
第7回	社会福祉の制度・法体系（高齢者福祉の法制度・障害者福祉の法制度）								
第8回	社会福祉の実施機関と行財政・社会福祉の施設								
第9回	子どもの人権と児童家庭福祉								
第10回	社会福祉の専門職と倫理								
第11回	相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法								
第12回	相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法（演習）								
第13回	福祉サービスの利用支援と第三者評価・権利擁護と苦情解決								
第14回	地域福祉の推進・他分野との連携								
第15回	社会福祉と保育士のこれからを考える								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
「保育と社会福祉」 編集 橋本好市・宮田徹 出版 (株)みらい					保育士は福祉の専門職です。社会福祉の基本をしっかりと学びましょう。				